

安全衛生教育センター「緑館」の紹介



安全衛生モニュメント
「Fifth Element」

三菱マテリアル株式会社
2023年2月1日

目次

1. 三菱マテリアル 会社概要
2. 安全衛生教育センター「緑館」 概要
3. 安全衛生教育センター「緑館」について
4. 安全衛生教育センター「緑館」 教育実績
5. 「爆発・火災」に関する体感教育 概要

1. 三菱マテリアル株式会社 会社概要

2022年3月期現在

社名	三菱マテリアル株式会社
本社	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
創業	1871年（明治4年）
設立	1950年（昭和25年）
資本金	119,457百万円
売上高	連結 1,811,759百万円
従業員数	単体 6,208人（連結 23,711人）
連結子会社	126社
持分法適用関連会社	17社

三菱マテリアルのNo.1

当社は非鉄金属等の基礎素材から、金属加工、半導体関連・電子部品、エネルギー・環境ビジネスなど、多角的に事業を展開しています。また、それぞれの事業においては、生産量や販売量などにおいてナンバーワンの特徴を有しています。



国内 No.1
伸銅品販売シェア

高機能製品カンパニー 銅加工事業



世界 No.1
E-Scrapリサイクル処理能力

金属事業カンパニー



世界 No.1
低アルファ線はんた販売シェア

高機能製品カンパニー 電子材料事業



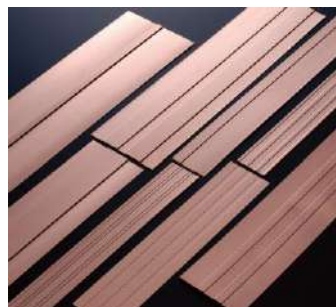
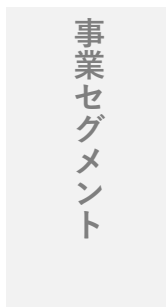
国内 No.1
超硬工具売上高

加工事業カンパニー

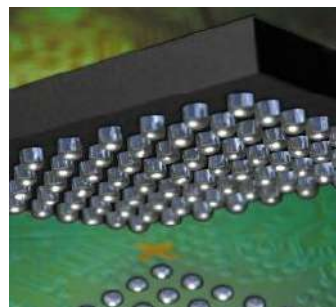


国内 No.1
家電リサイクル処理量

環境・エネルギー事業カンパニー



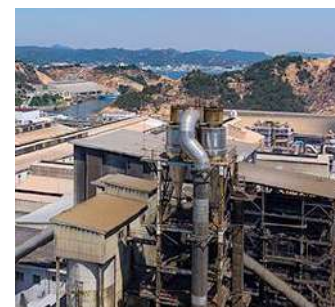
銅加工事業



電子材料事業



加工事業



金属事業



環境・エネルギー事業

2. 安全衛生教育センター「緑館」概要

- | | |
|---------|----------------------|
| 1. 所属部署 | プロフェッショナルCoE安全環境品質部 |
| 2. スタッフ | 5名
(指導員:4名 事務:1名) |
| | ※安全衛生教育センター長は兼務者 |
| 3. 所在地 | 埼玉県さいたま市大宮区 |
| 4. 延床面積 | 1,450㎡ |
| 5. 建設費用 | 6.5億円 |
| 6. 開講 | 2017年3月1日 |



3-1. 設立の目的

全社員一人ひとりの**危険感受性を高め**、
安全衛生法令や安全衛生関係基礎知識
の理解度を深める

罹災者の災害内容を解析すると・・・

多くは**設備の不安安全な状態**に**ヒューマンエラー**が重なった災害



徹底的なリスクアセスメントによる設備安全化を図り、危険ゼロ
に挑戦し、グループ全社員を対象とした**危険体感教育**機能を持
つ、安全衛生教育センターを設立

3-2. コンセプト

- 当社グループ会社で積極的に利用
(独自の危険体感教育施設を有しない、あるいは近隣に危険体感教育施設がないグループ会社で積極的に活用)
- 危険体感教育と安全衛生教育を実施する
- 技術系社員は、5年に1回程度の繰り返し教育を行う
(教育効果は時間の経過とともに薄れていくため)

3-3. 危険体感教育とは

現場での**危険感受性の向上**を図るために、受講者一人ひとりに危険を体感させ、災害の起因となる現場リスクを察知できるようにする。

- 体感できる内容を多く設定
- 全員に体感させる
- 見せる課目はできる限りリアルに演出
- 災害ビデオの活用

3-4. 教育内容－危険体感教育

1	 玉掛け危険体感	1-1 荷ぶれ激突体感 1-2 吊荷ワイヤー切断体感 1-3 吊荷挟まれ体感 1-4 吊荷高所落下体感 1-5 吊荷重心位置移動体感
2	 挟まれ・巻き込まれ危険体感	2-1 ロール巻き込まれ体感 2-2 スプロケットチェーン巻き込まれ体感 2-3 高速カップリング巻き込まれ体感 2-4 Vベルト巻き込まれ体感 2-5 スクリューコンベアー巻き込まれ体感 2-6 ロータリーバルブ巻き込まれ体感 2-7 ベルトコンベアー巻き込まれ体感 2-8 ボール盤巻き込まれ体感 2-9 旋盤巻き込まれ体感 2-10 ドラム缶挟まれ体感
3	 高所作業危険体感	3-1 5m墜落体感 3-2 墜落衝撃体感 3-3 モンキータラップ墜落体感 3-4 飛来落下体感 3-5 墜落制止用器具ぶら下がり体感 3-6 足場歩行・墜落体感 3-7 脚立・梯子体感
4	 生活災害危険体感	4-1 歩行体感 4-2 重量物ハンドリング体感 4-3 切創体感
5	 フォークリフト危険体感	5-1 横倒れ体感 5-2 バック走行時の死角確認
6	 薬液・高圧水危険体感	6-1 配管継ぎ部漏れ体感 6-2 フランジ外し漏れ体感 6-3 ホース暴れ体感
7	 ロボット危険体感	7-1 ティーチング作業体感 7-2 安全装置
8	 エアーシリンダー危険体感	8-1 ソレノイドバルブによるシリンダー動作確認 8-2 残圧力体感 8-3 トラブルシューティング
9	 爆発・ガス危険体感	9-1 ガス滞留体感 9-2 ガス爆発体感 9-3 粉体爆発体感
10	 電気危険体感	10-1 電工ドラム過熱体感 10-2 静電気爆発体感 10-3 感電体感 10-4 漏電体感 10-5 トラッキング体感 10-6 過電流体感 10-7 活線切断体感 10-8 高圧電線接近感電体感



挟まれ・巻き込まれ危険体感



電気危険体感



フォークリフト危険体感

3-5. 教育内容ーリモート安全衛生教育

○外部講師によるリモート教育実施(一部社内講師)

＜主な教育科目＞

- ・職長教育
- ・職長能力向上教育
- ・安全管理者選任時研修
- ・安全管理者能力向上教育
- ・衛生管理者能力向上教育
- ・第二種酸素欠乏危険作業特別教育
- ・粉じん作業者特別教育
- ・特定化学物質作業主任者能力向上教育
- ・有機溶剤作業主任者能力向上教育

＜年間スケジュール例＞

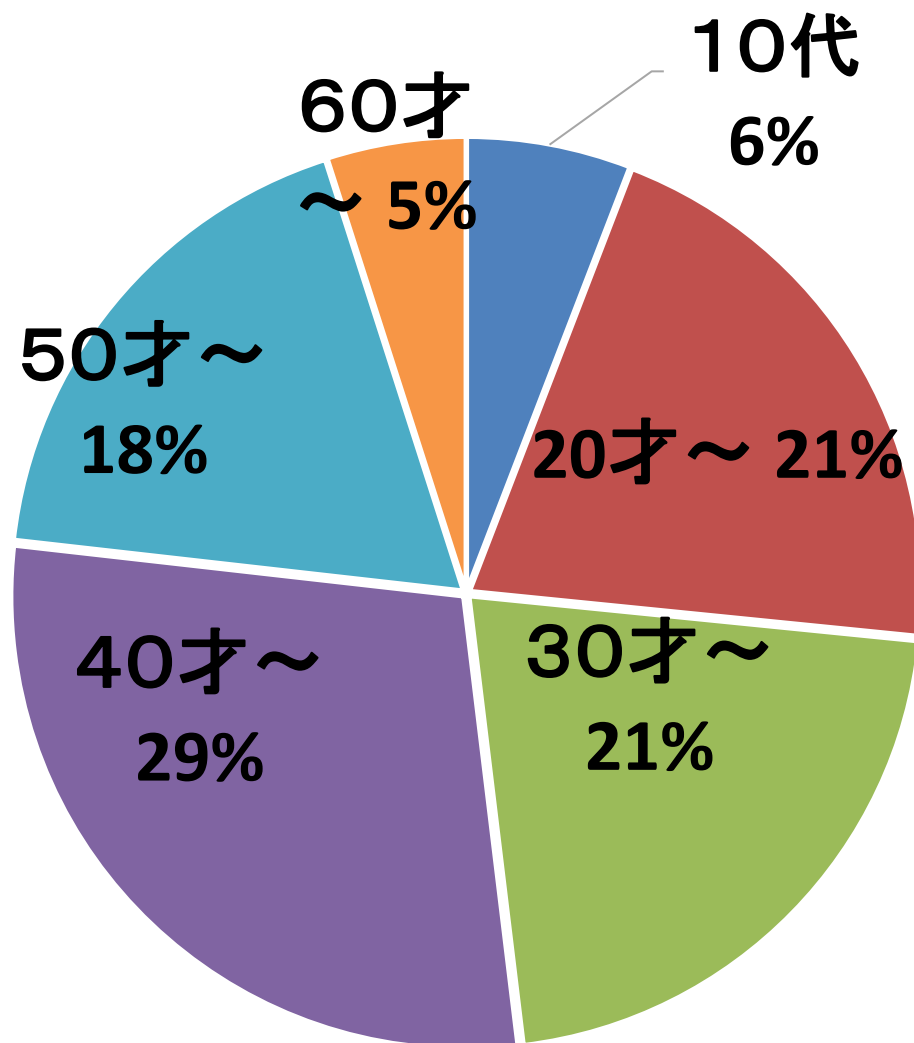
日付	時間	講座名
5月18日	9:00 ~ 15:45	1 第二種酸素欠乏危険作業特別教育
5月25日	9:00 ~ 15:00	2 石綿使用建築物解体業務特別教育
6月8日	9:00 ~ 15:00	14 粉じん作業者特別教育
6月15日	9:00 ~ 16:30	4 職長教育 2日間
6月16日	9:00 ~ 16:30	
6月22日	9:00 ~ 16:30	7 安全管理者選任時研修 1.5日間
6月23日	9:00 ~ 12:15	
7月6日	9:00 ~ 17:30	12 職長能力向上教育
7月27日	9:00 ~ 12:00	6 腰痛防止対策(修了証なし)
8月3日	9:00 ~ 17:30	8 安全管理者能力向上教育
8月24日	9:00 ~ 17:30	9 衛生管理者能力向上教育 2日間
8月25日	9:00 ~ 16:30	
9月7日	9:00 ~ 17:30	10 特定化学物質作業主任者能力向上教育
9月14日	9:00 ~ 17:30	11 有機溶剤作業主任者能力向上教育
10月5日	9:00 ~ 16:30	4 職長教育 2日間
10月6日	9:00 ~ 16:30	
10月12日	9:00 ~ 15:00	14 粉じん作業者特別教育
10月13日	9:00 ~ 16:30	

4-1. 教育実績

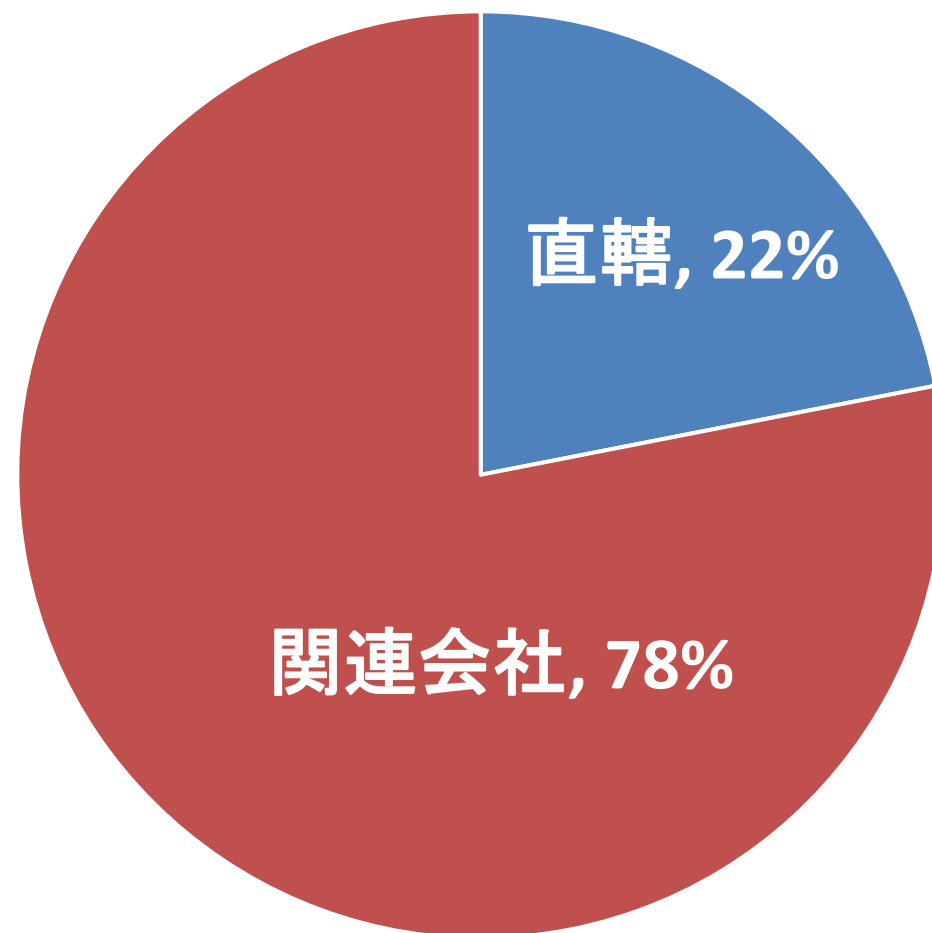
1. 受講対象者 当社国内グループ社員
約16,000名 (直轄:約5,500名 関連会社:約10,500名)
2. 総受講者数
延4,016名 (2017年3月～2022年3月末)
3. 年齢構成(別紙参照)
4. 直関比率 2:8
直轄事業所は小規模な体感設備を所有しているところが多い

4-2. 教育実績

累計 受講者年代比率



累計 体感教育参加者比率



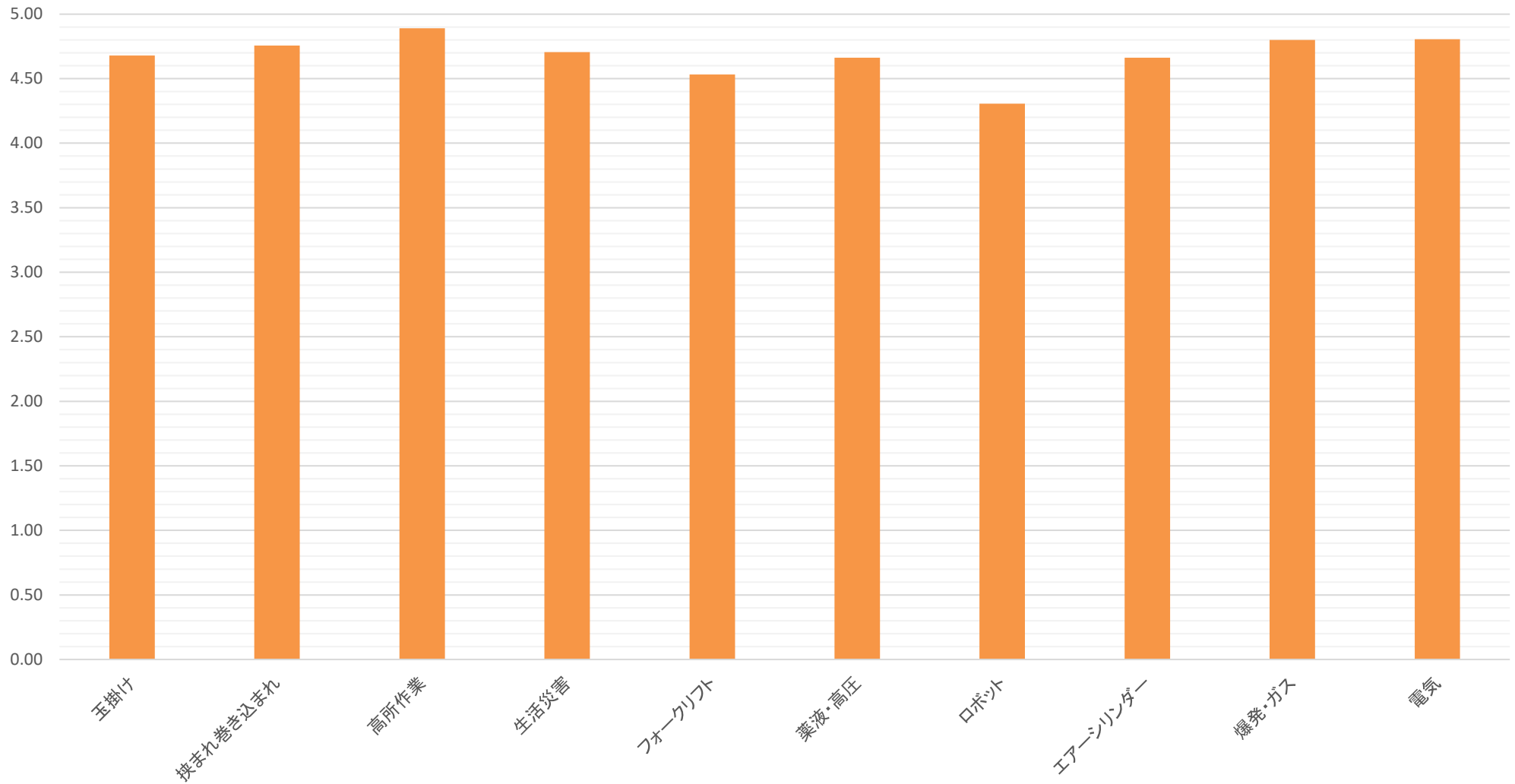
4-3. 教育実績

年度	危険体感教育		安全衛生教育		備考
	回数	延受講者数	講座数	延受講者数	
2016	11	62	0	0	2017年3月1日開講
2017	225	1,441	32	298	
2018	161	1,144	25	192	
2019	153	1,154	12	169	
2020	6	30	8	75	リモート教育開始
2021	35	185	18	181	
2022	40	185	19	203	12月末まで
計		4,201		1,118	

※2020年度以降、コロナ禍による影響で危険体感教育の受講者数は減少
一方、安全衛生教育はリモート教育開始により、コロナ禍前と同等に回復

4-4. 教育実績

平均満足度



5. 「爆発・火災」に関する体感教育

ガス爆発危険体感

メタンガスを利用

粉じん爆発危険体感

石松子(植物の胞子を利用)



可燃性ガスの爆発を観察し、可燃性ガスの特性と燃焼の3要素のコントロールの重要性を認識する。

粉じん爆発を観察し、粉じん爆発のメカニズムを認識する。

ご静聴 ありがとうございます



ご安全に！